

3 事業報告書

事業報告書

令和7年度(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係

(引 受)

△印 減

年 産	共 済 目 的	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済 掛 金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A) ± (B)
		人	a	円	円	円	円
7	水 稻	19,762	1,139,444.3	8,679,427,306	71,597,938	71,527,255	143,125,193
	前年対比	△1,083	△48,419.0	△471,514,652	△6,762,292	△6,753,323	△13,515,615
	麦	15	3,313.5	1,036,950	6,960	6,953	13,913
	計	(延) 19,797 (実) 19,777	1,142,757.8	8,680,464,256	71,604,898	71,534,208	143,139,106
8	麦	13	3,720.2	911,370	6,456	6,445	12,901
	前年対比	△2	406.7	△125,580	△504	△508	△1,012

年 産	共 済 目 的	計 画 達 成 率 面 積	農 林 統 計 引 受 率	10 a 当たり平均		1組合員当たり		平 均 単 位 当 たり共済金額 (kg 当 たり)
		%	%	基 準 収 穫 量 kg	農 家 負 担 掛 金 円	引 受 面 積 a	農家負担 掛 金 円	円
7	水稲	103.1	55.3	505	628	58	3,623	186.07
	麦	64.8	7.9	190	21	221	464	20.62
8	麦	112.0	8.7	183	17	286	497	16.75

引受の概要

(水稲)

水稲の引受面積は、農家の高齢化及び担い手不足に伴う離農や収入保険への移行等の影響により約484ha減少した。

この結果、県内の作付面積20,613haに対する引受率は55.3%となり、共済金額は86億7,943万円（前年対比94.8%）となった。

(麦)

麦の引受面積は、作付け中止により組合員数の減少はあったものの、継続加入者の作付拡大により、引受面積は約4ha増加した。

この結果、県内の作付面積427haに対する引受率は8.7%となり、共済金額は91万円（前年対比87.9%）となった。

(被 害)

△印 減

共 済 目 的		被害組合員数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金	平 均 共 済 金	
					共 済 金 額	10アール当たり	1 組合員当たり
水 稲	麦	人	a	円	%	円	円
		564	17, 996. 5	30, 061, 813	0. 3	16, 704	53, 301
麦	計	7	267. 4	21, 498	2. 1	804	3, 071
		延 571	18, 263. 9	30, 083, 311	-	-	-
前年	水 稲	△ 66	△ 2, 335. 0	△ 8, 158, 108	△0. 1	△2, 094	△7, 366
対比	麦	0	△ 1, 159. 7	△ 34, 571	△1. 6	411	△4, 939

被害の概要

(水 稲)

(麦)

8月上旬からの強風及び大雨による倒伏により穂発芽が発生し、一部地域では豪雨に伴う土砂の流入による稲株の埋没が発生した。また、7月上旬からの記録的な高温や少雨の影響により、水不足による生育不良が発生した。

病害については、いもち病による不稔実の発生及びごま葉枯病、紋枯病、白葉枯病による生育不良の被害が発生した。

獣害は、全域でシカやイノシシによる食害及び踏み荒らしが発生し、一部地域でヌートリアによる被害も確認された。

加えて虫害では、ジャンボタニシによる食害及びイネカメムシによる吸汁加害が発生した。

幼苗期の降雨で土壌が湿潤し、土中の酸素欠乏により生育不良となる土壌湿潤害が発生した。

獣害については、シカによる生育初期の新芽の食害、イノシシやサルによる乳熟期の食害や踏み荒らしが発生した。

(支 払)

共 済 目 的	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金					財 源	実 支 払 金
			保 険 金	手 持 掛 金	法 定 積 立 金	特 別 積 立 金	そ の 他		
水 稲	令和7年12月18日、25日 令和8年3月19日	円	円	円	円	円	円	円	% 100. 0
		30, 061, 813							
麦	令和7年8月14日	21, 498							
計		30, 083, 311	0	30, 083, 311	0	0	0	0	100. 0

(損害防止)

広報紙等により、損害防止情報を提供するとともに、侵入防止資材として「防護ネット（使用済みのり網）」の取扱いを行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)						△印 減					
区 分		組 合 員 数	有 資 格 頭 数	事業計画 頭 数	引 受 頭 数	引 受 頭 数	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	納 入 保 険 料	交 付 金	手持共済掛金
						事業計画頭数					
死 亡 廃 用	搾 乳 牛	82	人	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円
			4,940	6,762	5,893	87.1	1,198,537	26,774,124			
	育 成 乳 牛	380	1,934	3,935	3,095	78.7	446,015	2,213,107			
			└ 子牛等(内数)	(380)	(290)						
	繁 殖 用 雌 牛	380	4,190	4,395	3,995	90.9	983,730	4,212,087			
			育成・肥育牛	20,669	36,393	22,620	62.2	7,323,573	37,420,777		
	└ 子牛等(内数)	380	(4,862)	(3,507)							
			種 豚	3	3,417	4,111	445	10.8	31,504	4,390	
	肉 豚	5	49,916	25,074	21,955	87.6	296,184	33,129,453			
	計		(実 393) 470	85,066	80,670	58,003	71.9	10,279,544	103,753,938		
前 年 対 比		△ 34	41	1,434	△ 15,840		△ 6,878,725	△ 14,992,697			
疾 病 傷 害	乳 用 牛	88	6,874	7,481	7,016	93.8	248,029	51,988,067			
	肉 用 牛	400	24,859	14,686	14,394	98.0	394,126	42,355,546			
	種 豚	0	3,417	2,214	0	0.0	0	0			
	計	(実 403) 488	35,150	24,381	21,410	87.8	642,155	94,343,613			
前 年 対 比		△ 38	△ 2,352	△ 550	△ 1,499		△ 31,609	△ 4,931,036			
合 計		958	85,066				10,921,699	198,097,551	0	190,664,136	388,761,687

※有資格頭数は、令和8年2月1日現在。

引受の概要

令和7年度は物価高騰等により、依然として厳しい状況が続いており酪農家や和牛繁殖農家の廃業がみられた。死亡廃用共済では、全体で頭数、共済金額ともに減少がみられ、前年対比で搾乳牛は914頭、共済金額は約3億8,197万円減少、育成乳牛は869頭、共済金額で約2億1,169万円減少した。繁殖用雌牛では442頭、共済金額で8,260万円減少し、育成・肥育牛では14,359頭、共済金額で大きく減少し約62億9,097万円減少した。

種豚においては、引受頭数で76頭、共済金額で約479万円減少したが、肉豚は、引受頭数で820頭、共済金額で約9,329万円の増加となった。

疾病傷害共済は、前年対比で、乳用牛が587頭減少し、肉用牛は912頭の減少となった。共済金額は肉用牛が約1,272万円増加したものの、乳用牛が約4,433万円減少し、疾病傷害共済全体では、頭数、共済金額ともに減少となった。

(事故)		項目			
区 分	死 亡		廃 用		共 済
	死 亡 頭 数	法 令 殺 頭 数	廃 用 頭 数	総 頭 数	支 払 共 済 金
	頭	頭	頭	頭	円
搾 乳 牛	242	0	97	339	61,632,357
育 成 乳 牛	81	0	4	85	2,633,832
└ 子牛等(内数)	(71)	(0)	(0)	(71)	
繁 殖 用 雌 牛	50	0	20	70	12,438,262
育 成 ・ 肥 育 牛	523	0	51	574	39,935,513
└ 子牛等(内数)	(441)	(0)	(2)	(443)	
種 豚	0	0	0	0	0
肉 豚	5,433	0	0	5,433	53,695,759
計	6,329	0	172	6,501	170,335,723
前 年 対 比	△ 688	0	△ 53	△ 741	△ 43,289,084

事故の概要

(死廃事故)

牛では、前年対比で搾乳牛で127頭、支払共済金は約3,848万円の減少、育成乳牛で4頭減少したが、支払共済金は約71万円増加した。繁殖用雌牛においては頭数は17頭、支払共済金は約121万円の減少となった。育成・肥育牛では38頭減少、支払共済金約518万円の減少となった。種豚では48頭、約235万円の減少。肉豚では507頭減少したが、支払共済金は約321万円増加となった。

		△印 減	
項目		疾 病 傷 害 共 済	
区 分		件 数	支 払 共 済 金
		件	円
乳 用 牛		7,725	126,566,072
肉 用 牛		11,345	143,172,196
種 豚		-	-
計		19,070	269,738,268
前 年 対 比		△ 406	10,401,223

(病傷事故)

前年対比で乳用牛の件数は563件減少し、支払共済金は約185万円減少した。肉用牛では386件増加し、支払共済金は約1,321万円増加した。令和7年度に引受けのなかった種豚については事故件数が229件、支払共済金が約96万円減少となった。

(損害防止)

実 施 種 目		対 象 頭 数	経 費 概 算	摘 要	
特 定 損 害 防 止 事 業		頭 439	円 3,581,030	乳用牛:周産期疾患 254頭 肉用牛:周産期疾患 185頭	
一（診療所 一般損害 防止）	家 畜 共 済 事 故 低 減 指 導 事 業	頭 386	円 1,542,000	乳用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 278頭 肉用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 108頭	
	計	386	1,542,000		
一 般 損 害 防 止	家 畜 共 済 疾 病 予 防 事 業	頭 22,629	円 827,680	実施農家数 419戸（消石灰配布）	
	計	22,629	827,680		

(診療所)

診 療 所 名	獣 医 師 数	有 資 格 頭 数	加 入 頭 数	診 療 件 数		損 害 防 止 事 業 （ 診 療 所 実 施 ）			そ の 他		摘 要
				共 済 事 故	事 故 外	一 般	特 損	経 費 概 算	予 防 注 射	人 工 授 精	
東 広 島	人 4	頭 4,794	頭 2,520	件 1,272	件 1,439	頭 20	頭 47	円 467,540	頭 1,572	件 171	
北 広 島	7	4,547	4,195	3,777	3,958	92	101	1,211,380	4,850	1,263	
府 中	7	17,343	7,209	3,853	4,287	172	101	1,452,500	4,307	442	
庄 原	4	4,013	3,985	3,194	3,052	69	124	1,290,230	4,281	643	
三 次	3	4,453	3,500	2,153	1,984	33	66	701,380	2,251	255	
計	25	35,150	21,409	14,249	14,720	386	439	5,123,030	17,261	2,774	

(3) 果樹共済関係
(引 受)

△印 減

果 区	樹 分	項 目 年 産		組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) ± (B)
				延	実					
う ん し ゅ う み か ん	(減 収 総 合 一 般)	令和8年産計 A		人 206	人 149	a 2,053.4	円 25,270,000	円 176,786	円 44,698	円 221,484
		令和7年産計 B		216	158	2,058.4	26,510,000	235,368	147,629	382,997
		前年対比 A－B		△10	△9	△5.0	△1,240,000	△58,582	△102,931	△161,513
		参 考	1 組 合 員 当 たり			13.8	169,597			
			10 ア ー ル 当 たり				123,064			
	(災 害 収 入)	令和8年産計 A		54	54	1,780.4	40,649,000	237,404	58,093	295,497
		令和7年産計 B		68	68	2,495.6	55,874,000	485,925	294,712	780,637
		令和6年産計 C		77	77	2,923.9	62,068,000	555,849	337,109	892,958
		前年対比 A－B		△14	△14	△715.2	△15,225,000	△248,521	△236,619	△485,140
		参 考	1 組 合 員 当 たり			33.0	752,759			
			10 ア ー ル 当 たり				228,314			
な つ み か ん	(減 収 総 合 一 般)	令和9年産計 A		10	10	77.0	729,000	4,039	△70	3,969
		令和8年産計 B		11	11	83.0	806,000	4,533	1,547	6,080
		令和7年産計 C		18	18	139.0	1,344,000	8,122	2,775	10,897
		前年対比 A－B		△1	△1	△6.0	△77,000	△494	△1,617	△2,111
		参 考	1 組 合 員 当 たり			7.7	72,900			
			10 ア ー ル 当 たり				94,675			
指 定 か ん き つ	(減 収 総 合 一 般)	令和9年産計 A		106	85	1,070.3	18,075,000	95,980	51,732	147,712
		令和8年産計 B		113	92	1,112.5	18,971,000	167,912	134,130	302,042
		令和7年産計 C		126	102	1,287.0	23,442,000	218,536	174,583	393,119
		前年対比 A－B		△7	△7	△42.2	△896,000	△71,932	△82,398	△154,330
		参 考	1 組 合 員 当 たり			12.6	212,647			
			10 ア ー ル 当 たり				168,878			
	(災 害 収 入)	令和9年産計 A		49	49	2,085.9	60,463,000	314,604	205,551	520,155
		令和8年産計 B		59	59	2,754.5	77,735,000	737,967	601,188	1,339,155
		令和7年産計 C		65	65	3,137.2	87,299,000	803,978	654,945	1,458,923
		前年対比 A－B		△10	△10	△668.6	△17,272,000	△423,363	△395,637	△819,000
		参 考	1 組 合 員 当 たり			42.6	1,233,939			
			10 ア ー ル 当 たり				289,865			

果 樹 区 分		項 目 年 産		組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
				延	実						
りんご	(減収総合一般)	令和8年産計 A		人 14	人 5	a 437.7	円 19,354,000	円 577,542	円 △257,650	円 319,892	
		令和7年産計 B		10	4	254.0	10,388,000	253,428	△79,370	174,058	
		前年対比 A－B		4	1	183.7	8,966,000	324,114	△178,280	145,834	
		参考	1 組合員当たり			87.5	3,870,800				
			10 アール当たり			442,175					
ぶどう	(減収総合一般)	令和8年産計 A		50	46	1,109.6	138,054,000	360,172	88,974	449,146	
		令和7年産計 B		54	49	1,177.3	144,915,000	430,323	322,664	752,987	
		前年対比 A－B		△4	△3	△67.7	△6,861,000	△70,151	△233,690	△303,841	
		参考	1 組合員当たり			24.1	3,001,174				
	10 アール当たり		1,244,178								
	とうもろこし	(災害収入)	令和8年産計 A		0	0	0.0	0	0	0	0
			令和7年産計 B		4	2	351.9	58,684,000	273,407	167,617	441,024
			前年対比 A－B		△4	△2	△351.9	△58,684,000	△273,407	△167,617	△441,024
			参考	1 組合員当たり			-	-			
				10 アール当たり			-				
なし	(減収総合一般)	令和8年産計 A		12	7	278.0	9,316,000	273,864	△133,465	140,399	
		令和7年産計 B		12	7	235.7	8,290,000	176,462	△57,289	119,173	
		前年対比 A－B		0	0	42.3	1,026,000	97,402	△76,176	21,226	
		参考	1 組合員当たり			39.7	1,330,857				
			10 アール当たり			335,108					
収 穫 共 済 計				501	405	8,892.3	311,910,000	2,040,391	57,863	2,098,254	
前 年 対 比				△46	△45	△1,630.6	△ 90,263,000	△724,934	△1,474,965	△2,199,899	

(引受の概要：収穫共済)

令和7年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ（はっさく、ネーブルオレンジ、清見、不知火、はるみ、レモン）、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に半相殺減収総合一般方式、災害収入共済方式の2区分の収穫共済で実施した。

常緑果樹は、新規引受けはあったが、高齢化による栽培規模の縮小、廃園等による加入中止、収入保険への移行などにより41人、1,437.0aの減少となった。

落葉果樹は、新規引受けはあったが、伐採、廃園等による加入中止、収入保険への移行などにより4人、193.6aの減少となった。

令和6年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率及び前年対比（面積）は、うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）2.3%、99.8%、うんしゅうみかん（災害収入共済方式）3.2%、71.3%、なつみかん（半相殺減収総合一般方式）4.3%、92.8%、指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）1.9%、96.2%、指定かんきつ（災害収入共済方式）3.5%、75.7%、りんご（半相殺減収総合一般方式）14.0%、172.3%、ぶどう（半相殺減収総合一般方式）7.8%、94.2%、なし（半相殺減収総合一般方式）3.5%、117.9%となった。

△印 減

果 樹 区 分		項 目 年 度	組 合 員 数		引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) ± (B)
			延	実					
樹 体	うんしゅうみかん	令和7年度計 A	人 2	人 2	a 73.1	円 7,289,000	円 5,685	円 4,571	円 10,256
		令和6年度計 B	2	2	73.1	7,754,000	15,663	14,478	30,141
		前年対比 A－B	0	0	0.0	△465,000	△9,978	△9,907	△19,885
		参考 1 組合員当たり			36.6	3,644,500			
	なつみかん	10 アール当たり				997,127			
		令和7年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和6年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
		参考 1 組合員当たり			－	－			
	指定かんきつ	10 アール当たり				－			
		令和7年度計 A	2	2	49.4	15,974,000	4,153	2,861	7,014
		令和6年度計 B	2	2	49.4	17,049,000	10,997	9,616	20,613
		前年対比 A－B	0	0	0.0	△1,075,000	△6,844	△6,755	△13,599
		参考 1 組合員当たり			24.7	7,987,000			
	りんご	10 アール当たり				3,233,603			
		令和7年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和6年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
共 済	ぶどう	参考 1 組合員当たり			－	－			
		10 アール当たり				－			
		令和7年度計 A	1	1	9.0	5,282,000	8,662	4,575	13,237
		令和6年度計 B	1	1	9.0	5,286,000	18,686	16,261	34,947
	なし	前年対比 A－B	0	0	0.0	△4,000	△10,024	△11,686	△21,710
		参考 1 組合員当たり			9.0	5,282,000			
		10 アール当たり				5,868,889			
		令和7年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和6年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A－B	0	0	0.0	0	0	0	0
		参考 1 組合員当たり			－	－			
	樹 体 共 済 計	10 アール当たり				－			
		令和7年度計 A	5	5	131.5	28,545,000	18,500	12,007	30,507
		令和6年度計 B							
		前年対比 A－B	0	0	0.0	△ 1,544,000	△26,846	△28,348	△55,194
果 樹 共 済 計	令和7年度計 A		506	410	9,023.8	340,455,000	2,058,891	69,870	2,128,761
	令和6年度計 B								
前 年 対 比	令和7年度計 A		△46	△45	△1,630.6	△91,807,000	△751,780	△1,503,313	△2,255,093
	令和6年度計 B								

(引受の概要：樹体共済)

令和7年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ、りんご、ぶどう、令和6年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率は、うんしゅうみかん0.08%、指定かんきなしの6樹種を対象に実施したが、うんしゅうみかん、指定かんきつ、ぶどうの3樹種での引受 つ0.09%、ぶどう0.06%となった。
けとなり、組合員数及び引受面積は前年と同様となった。

(被 害・支 払)			△印 減											
			項 目		年産 (度)	被 害 組 合 員 数	共 済 金	共 済 金		支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源		
果樹区分		共 済 金	共済金額	保 険 金				手 持 掛 充 当 額	法 定 積 立 充 当 額			特 別 積 立 充 当 額	そ の 他	
収 穫 共 済	うんしゅう み か ん	(一 般)	7	人 1	円 14,340	% 0.1	令和8年2月20日	円 14,340	円	円	円	円	円	% 100.0
	なつみかん	(一 般)	7	0	0	0.0	-	0		0			0	-
	指 定 か ん き つ	(一 般)	7	1	26,680	0.1	令和7年7月2日	26,680		26,680			0	100.0
	り ん ご	(一 般)	7	0	0	0.0	-	0		0			0	-
	ぶ ど う	(一 般)	7	2	80,190	0.1	令和7年12月16日	80,190		80,190			0	100.0
	な し	(一 般)	7	1	85,680	1.0	令和7年12月16日	85,680		85,680			0	100.0
樹 体 共 済	うんしゅうみかん		6	0	0	0.0	-	0		0			0	-
	指定かんきつ		6	0	0	0.0	-	0		0			0	-
	ぶどう		6	0	0	0.0	-	0		0			0	-
収 穫 共 済	うんしゅう み か ん	(災 害)	6	9	2,563,864	4.1	令和7年11月18日	2,563,864		1,233,627			0	100.0
	指 定 か ん き つ	(災 害)	7	0	0	0.0	-	0		0			0	-
	ぶ ど う	(災 害)	7	0	0	0.0	-	0		0			0	-
計				14	2,770,754	0.6		2,770,754	1,330,237	1,440,517	0	0	0	100.0
前 年 対 比				△20	△728,474			△728,474	1,330,237	△2,058,711	0	0	0	

(被害の概況)

① 令和7年産 うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）

令和7年2月上旬の寒波により落葉が発生し、その影響で開花はしたものの落花し着果不良となり、結実量が減少する被害が発生した。

令和7年7月上旬以降の気温が高く、日照時間が長かったことから、日焼け果の被害が発生した。

② 令和7年産 指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）

令和6年11月中旬から令和7年1月上旬までイノシシによる果実の食害、枝折れによる被害が発生した。

③ 令和7年産 ぶどう（半相殺減収総合一般方式）

令和7年8月上旬からアライグマやアナグマによる果実の食害が発生した。

④ 令和7年産 なし（半相殺減収総合一般方式）

令和7年6月下旬から降雨が少なく、干ばつ状態となり、小玉果の被害が発生した。

令和7年6月下旬から気温が高く、日照時間が長かったことから、日焼け果の被害が発生した。

令和7年7月中旬からハダニによる葉の褐変や落葉が多く発生し、その影響で玉太りが悪く、小玉果の被害が発生した。

令和6年7月中旬以降の高温により、日焼け果が発生した。

令和6年7月中旬から令和6年9月下旬まで、降雨が少なく干ばつ状態となり、小玉果の被害が発生した。また、干ばつ後の急な降雨により裂果の被害が発生した。

令和6年9月下旬から令和6年12月中旬までイノシシによる果実の食害、枝折れによる被害が発生した。

(損害防止)

損害防止に係る防除薬剤費の一部助成を行った。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

△印 減

項目 年度	畑作物 区 分	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料 (B)	手持共済掛金 (A)±(B)	農 林 統 計 引 受 率
		人	a	円	円	円	円	%
7	大 豆	15	2,534.2	2,649,796	104,464	△60,798	43,666	6.3
前 年 対 比		△12	△2,366.8	△2,975,895	△98,402	△52,182	△150,584	△6.0

項目 年度	畑作物 区 分	10 ア ー ル 当 た り 平 均		1 組 合 員 当 た り 平 均		平均単位当たり 共 済 金 額 (kg 当 た り)
		基 準 収 穫 量	農家負担 掛 金	引 受 面 積	農 家 負 担 掛 金	
		kg	円	a	円	円
7	大 豆	86	412	168.9	6,964	145.00
前 年 対 比		△9	△2	△12.6	△550	

引受の概要

農業経営収入保険へ移行したことや作付面積の減少、他の作物への転換により、引受面積は25.3ha（前年対比51.7％）、共済金額は265万円（前年対比47.1％）となった。引受率は、県内の作付面積361haに対し、7.0％となった。

(被 害)

△印 減

項目 年度	畑作物 区 分	被 害 組 合 員 数	被害面積	共 済 金	共 済 金	1 戸 当 た り 平 均		備 考
					共 済 金 額	被 害 面 積	共 済 金	
		人	a	円	%	a	円	
7	大 豆	4	940.2	46,516	1.8	235.1	11,629	
前 年 対 比		△13	△2,151.2	△166,509	△2.0	53.3	△902	

被害の概要

梅雨明けからの高温や少雨による干害で、水不足となり生育不良が発生した。
獣害は、全域で生育初期からのシカによる新芽の食害、子実肥大期から収穫時期にはイノシシによる食害や踏み荒らしの被害が発生した。

(支 払)

△印 減

項目 年度	畑作物 区 分	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金		支 払 財 源			実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
			円	円	円	円	円	円	%
7	大 豆	令和8年3月18日	46,516	0	43,666	2,850	0	0	100.0
前 年 対 比			△166,509	0	△150,584	△15,925	0	0	

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

△印 減

施 設 区 分	項 目	組 合 員 数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交 付 金 又 は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
		人	棟	m ²	千円	千円	円	円	円
ガ ラ ス 室	I 類	2	3	1,565	28,613	28,205	9,091	173	9,264
〃	II 類	8	23	9,596	214,859	205,675	28,032	6,534	34,566
プラスチックハウス	I 類	1	2	554	2,165	2,165	5,887	2,537	8,424
〃	II 類	1,299	4,501	1,101,063	4,238,552	3,537,646	13,991,022	5,382,222	19,373,244
〃	III 類	68	101	118,614	834,575	759,268	1,213,065	667,270	1,880,335
〃	IV 類	甲	50	115	94,984	932,666	1,181,464	626,826	1,808,290
		乙	19	42	37,750	530,580	100,409	44,158	144,567
〃	V 類	20	39	36,945	397,333	325,167	154,336	80,813	235,149
〃	VI 類	51	186	31,948	65,286	53,030	481,998	246,603	728,601
〃	VII 類	1	1	1,623	624	624	20,621	5,653	26,274
計		1,519	5,013	1,434,642	7,245,253	6,017,538	17,185,925	7,062,789	24,248,714
前 年 対 比		10	△ 91	△ 19,095	69,829	67,005	△ 1,087,814	△ 354,594	△ 1,442,408

施 設 区 分	項 目	1 組 合 員 当 た り				1 棟 当 た り		
		棟 数	面 積	共 済 金 額	農 家 掛 金	面 積	共 済 金 額	農 家 掛 金
		棟	m ²	千円	円	m ²	千円	円
ガ ラ ス 室	I 類	2	783	14,103	4,546	522	9,402	3,030
〃	II 類	3	1,200	25,709	3,504	417	8,942	1,219
プラスチックハウス	I 類	2	554	2,165	5,887	277	1,083	2,944
〃	II 類	3	848	2,723	10,771	245	786	3,108
〃	III 類	1	1,744	11,166	17,839	1,174	7,518	12,011
〃	IV 類	甲	2	1,900	23,629	826	5,891	10,274
		乙	2	1,987	22,542	899	10,198	2,391
〃	V 類	2	1,847	16,258	7,717	947	8,338	3,957
〃	VI 類	4	626	1,040	9,451	172	285	2,591
〃	VII 類	1	1,623	624	20,621	1,623	624	20,621
計		3	944	3,962	11,314	286	1,200	3,428
前 年 対 比		0	△ 19	19	△ 796	1	34	△ 152

引受の概要
 令和7年度の引受けは、未継続や廃業等により引受棟数、設置面積の減少もあったが、未加入者への戸別訪問や、新規就農者の加入により、共済価額、共済金額は増加した。
 有資格棟数（令和7年12月組合調査）に対する引受率は61.4%となり、有資格戸数（令和8年3月組合調査）に対する引受率は、79.9%となった。

(被 害)		△印 減												
施 設 区 分		被 害			損 害 額	共 済 金							共済金	
		組 合 員 数	棟 数	附 帯 施 設 数		特 園 芸 施 設	附 帯 施 設	施 農 設 作	内 物	撤 去 費 用	本 復 旧 費 用	附 帯 復 旧 費 用	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室 I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類		69	82	4	5,476,581	3,668,220	389,629	305,648	177,000	0	107,303	4,647,800	0.1	
〃 III類		10	10	0	912,741	747,354	0	0	0	0	0	747,354	0.1	
〃 IV類	甲	3	4	1	365,808	203,974	88,671	0	0	0	0	292,645	0.0	
	乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
〃 V類		1	6	0	58,248,580	46,598,863	0	0	0	0	0	46,598,863	14.3	
〃 VI類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
〃 VII類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
計		83	102	5	65,003,710	51,218,411	478,300	305,648	177,000	0	107,303	52,286,662	0.9	
前 年 対 比		△ 8	△ 18	3	46,367,683	36,686,555	306,015	△ 499,672	177,000	0	70,343	36,740,241	0.6	

項 目 施 設 区 分		1 組 合 員 当 た り			1 棟 当 た り		被 害 棟 数						
		棟 数	共 済 金	被害率	共 済 金	被害率	施 設 本 体	附 帯 施 設	施 農 設 作	内 物	撤 去 費 用	本 復 旧 費 用	附 復 旧 費 用
ガ ラ ス 室 I 類		棟 0.0	円 0	% 0.0	円 0	% 0.0	棟 0	棟 0		棟 0	棟 0	棟 0	棟 0
" II類		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0		0	0	0	0
プラスチックハウス I 類		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0		0	0	0	0
" II類		1.2	67,359	2.5	56,680	7.2	75	4		5	2	0	1
" III類		1.0	74,735	0.7	74,735	1.0	10	0		0	0	0	0
" IV類	甲	1.3	97,548	0.7	73,161	1.2	4	1		0	0	0	0
	乙	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0		0	0	0	0
" V類		6.0	46,598,863	286.6	7,766,477	93.1	6	0		0	0	0	0
" VI類		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0		0	0	0	0
" VII類		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0		0	0	0	0
計		1.2	629,960	15.9	512,614	42.7	95	5		5	2	0	1
前 年 対 比		△ 0.1	459,120	11.6	383,060	31.6	△ 13	3		△ 5	2	0	0

被害の概要

令和7年度の被害状況は、年間を通じた強風により、被覆材に被害が発生し、支払対象は75棟 令和7年度の特定園芸施設ごとの保険金は11棟となった。また、年間超過損害保険金は発生しなかった。また、1月3日～4日及び2月8日～9日の大雪により、施設本体の倒壊等の被害が発生 かった。し、風雪に係る支払対象は13棟となった。その他、9月及び10月の落雷、3月の強風と風雪で附帯施設に被害が発生し、支払対象は5棟となった。施設内農作物については、かいよう病により支払対象は5棟となった。また、前年度の強風や雪害により、附帯施設や鉄骨施設に被害が発生し、支払対象は7棟となった。

(支 払)		共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
実 支 払 共 済 金		保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	共 済 金
		円	円	円	円	円	%
52,286,662		28,250,172	24,036,490	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

① 建物共済

(引受関係) △印 減

	加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 た り	保 険 料	保 険 手 数 料
			純 共 済 掛 金	賦 課 金	平 均 共 済 金 額		
	棟	円	円	円	円	円	円
	85,897	996,727,510,000	622,170,809	416,467,735	11,603,752	356,750,929	118,663,350
前 年 対 比	△2,741	△28,802,070,000	△10,757,721	△8,214,227	33,888	△6,407,511	△ 2,318,651

引受の概要

令和7年度は、635棟、76億4,083万円の新規引受けはあったものの、他共済への移行、空家の増加等により、前年対比で火災共済は2,379棟、266億3,876万円、総合共済は362棟、21億6,331万円と棟数、共済金額全てにおいて減少となり、合計では2,741棟、288億207万円減少した。

(事故関係)

△印 減

	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金			保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	合 計 (ロ)		
	棟	円	円	円	円	円	%
	862	11,529,920,000	461,957,480	52,613,104	514,570,584	154,370,888	4.46
前 年 対 比	261	3,419,390,000	230,763,411	22,177,122	252,940,533	75,815,996	1.23

事故の概要

令和7年度は、前年対比で棟数は261棟、支払共済金は約2億5,294万円増加した。火災等の事故は、全焼事故が21棟あり前年対比で9棟多く、支払共済金は約2億3,076万円増加した。また、風水害等の自然災害の事故は、令和7年2月上旬の積雪による事故の支払いがあり、支払共済金は約2,218万円増加した。

(建物共済原因別事故発生状況)

△印 減

事 故 の 原 因 別	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	保 險 金	被 害 率 (ロ)/(イ)	支 払 割 合
	棟	円	円	円	%	%
コ ン ロ	2	10,000,000	190,521	57,155	1.9	0.0
灯 火	1	39,000,000	44,486,880	13,346,064	114.1	8.6
マッチ・ライター	4	54,000,000	26,246,086	7,873,825	48.6	5.1
そ の 他 の 火 の 粉	4	51,000,000	67,106,240	20,131,869	131.6	13.0
漏 電	7	100,300,000	97,198,044	29,159,410	96.9	18.9
不 明 ・ 調 査 中	3	64,600,000	41,186,600	12,355,979	63.8	8.0
類 焼	23	197,390,000	112,842,832	33,852,846	57.2	21.9
火 災 合 計 ①	44	516,290,000	389,257,203	116,777,148	75.4	75.6
前 年 対 比	26	323,540,000	209,934,403	62,980,314	△ 17.6	7.1
水 道 管 凍 結	185	2,544,980,000	7,461,832	2,238,515	0.3	1.5
落 雷	232	4,170,190,000	34,890,583	10,467,089	0.8	6.8
外部からの落下等	56	710,400,000	2,705,508	811,631	0.4	0.5
車両の飛び込み	17	199,000,000	4,885,451	1,465,628	2.5	0.9
給排水設備	49	976,350,000	18,135,991	5,440,776	1.9	3.5
盗難による汚毀損	12	128,300,000	2,053,252	615,971	1.6	0.4
建物内部の車両衝突	8	78,800,000	2,567,660	770,297	3.3	0.5
拡張担保合計②	559	8,808,020,000	72,700,277	21,809,907	0.8	14.1
前 年 対 比	143	2,224,740,000	20,829,008	6,248,658	0.0	△ 5.7
自然災害以外の 合 計 ① + ②	603	9,324,310,000	461,957,480	138,587,055	5.0	89.8

△印 減

事 故 の 原 因 別	事 故 棟 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	保 險 金	被 害 率 (ロ)/(イ)	支 払 割 合
	棟	円	円	円	%	%
風 台 風	2	15,000,000	179,128	53,737	1.2	0.0
強 風	16	189,000,000	2,120,943	636,279	1.1	0.4
大 雨 ・ 豪 雨	3	27,000,000	337,796	101,338	1.3	0.1
風 水 台 風	1	7,500,000	257,208	77,162	3.4	0.0
暴 風 雨	9	71,000,000	1,391,351	417,403	2.0	0.3
雹 害	1	5,000,000	75,597	22,679	1.5	0.0
積 雪	226	1,883,710,000	48,100,497	14,430,060	2.6	9.3
そ の 他 の 雪 害	1	7,400,000	150,584	45,175	2.0	0.0
自 然 災 害 合 計 ③	259	2,205,610,000	52,613,104	15,783,833	2.4	10.2
前 年 対 比	93	881,110,000	22,507,534	6,752,230	0.1	△ 1.3
地 震	0	0	0	0	0.0	0.0
地 震 等 合 計 ④	0	0	0	0	0.0	0.0
前 年 対 比	△ 1	△ 10,000,000	△ 330,412	△ 165,206	△ 3.3	△ 0.1
合 計	862	11,529,920,000	514,570,584	154,370,888	4.5	100.0
前 年 対 比	261	3,419,390,000	252,940,533	75,815,996	1.3	-

② 農機具共済					
(引受関係)					
	加 入 台 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 台 当 た り
			純 共 済 掛 金	賦 課 金	平 均
					共 済 金 額
	台	円	円	円	円
	9,183	22,531,700,000	68,886,368	33,232,974	2,453,632
前 年 対 比	△80	714,080,000	2,195,402	1,001,353	98,281

引受の概要

令和7年度は、571台、18億4,231万円の新規引受けがある一方、高齢化等による離農で個人所有の加入農機具の廃棄、売却等があり、前年対比で台数は80台減少したが、新規加入や法人等の大型農機具の引受けにより、共済金額は7億1,408万円増加した。

(事故関係)							△印 減
	事 故 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金				被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	そ の 他	合 計 (ロ)	
	台	円	円	円	円	円	%
	81	382,010,000	1,202,337	0	29,051,550	30,253,887	7.92
前 年 対 比	△30	△80,700,000	△6,883,926	△114,119	△6,373,716	△13,371,761	△1.51

事故の概要

令和7年度は、前昨対比で30台、約1,337万円と台数、支払共済金ともに減少した。火災等の事故は、物体の落下・飛来等、火災で9台となった。また、その他の事故は、接触、異物の巻き込み、衝突、墜落及び転覆等、稼働中の事故が合わせて72台となり、全体の88.9%を占めた。

(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

△印 減

	加 入 台 数	共 済 金 額	減 価 共 済 金 額	共 済 掛 金				1 台 当 た り
				純 共 済 掛 金		賦 課 金	計	平 均
				損 害 部 分	減 価 部 分			共 済 金 額
	台	円	円	円	円	円	円	円
	0	0	0	0	0	0	0	0
前 年 対 比	0	0	0	0	0	0	0	0

引受の概要

令和7年度の引受けはなかった。

(事故関係)

△印 減

	事故台数	期 間 満 了 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金				被 害 率 (ロ)/(イ)	
				事 故 に よ る も の					期 間 満 了 の も の
				火 災	風 水 害 等	そ の 他	計 (ロ)		
	台	台	円	円	円	円	円	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前 年 対 比	△1	0	△4,720,000	0	0	△4,775,019	△4,775,019	0	△101.2

（８）農業経営収入保険関係

（引 受）					△印 減			
経 営 形 態	加 経 営 体	基 準 収 入	保 険 金 額	補 填 対 象 金 額	納 入 保 険 料 等			
					保 険 料	積 立 金	事 務 費	合 計
	経営体	円	円	円	円	円	円	円
個 人	1,210	7,198,595,065	5,017,948,477	605,100,127	59,523,828	151,275,471	14,399,804	225,199,103
法 人	298	8,338,718,804	5,947,801,200	694,738,837	65,444,663	173,684,813	14,399,104	253,528,580
計	1,508	15,537,313,869	10,965,749,677	1,299,838,964	124,968,491	324,960,284	28,798,908	478,727,683
前 年 対 比	△1	1,049,472,819	722,886,043	82,671,312	2,103,095	20,667,852	1,598,534	24,369,481

引受の概要

令和7年度の引受けは、未加入者への個別訪問による新規加入があったものの、未継続や廃業等による減少もあり、前年対比で1経営体の減少となった。
1 経営体当たりの基準収入金額は、個人経営体で約595万円、法人経営体で約2,798万円となり、主な対象品目は、水稻、野菜、果樹、花きなどとなっている。

（支 払）					△印 減	
経 営 形 態	補 填 金				つ な ぎ 資 金	
	経 営 体 数	保 険 金	特 約 補 填 金	合 計	経 営 体 数	貸 付 金 額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個 人	191	73,030,519	73,266,089	146,296,608	4	15,750,000
法 人	26	31,352,937	65,530,612	96,883,549	9	84,870,000
計	217	104,383,456	138,796,701	243,180,157	13	100,620,000
前 年 対 比	△98	△67,827,525	△22,248,564	△90,076,089	△9	45,300,000

被害の概要

梅雨明け以降、猛暑日が続き、果樹と野菜を中心に高温や少雨による生育不良やカメムシ及びオオタバコガ等の虫害による品質低下が発生した。獣害は、イノシシやシカによる食害等が県内全域で発生し、収穫量、販売数量が減少した。また、加入者の病気による販売数量の減少も起こった。

(9) 業 務 関 係
ア 重要な処理事項

月 日	行 事 内 容	場 所
令和7年		
4月2日～4日	新任職員研修会	広島市
4月15日	家畜共済担当者等会議	広島市他
4月17日	任意共済事業推進担当課長等会議	〃
4月18日	収穫園芸担当課長等会議	広島市
4月21日	広島県農業共済研修基金運用委員会	〃
4月22日	部長・室課長・支所長会議	〃
4月28日	「未来へつなぐ」サポート運動表彰審査委員会	〃
4月30日	決算監査(三次支所)	三次市
〃	〃 (三次診)	〃
〃	〃 (庄原診)	庄原市
5月2日	〃 (北広島診)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
5月8日	〃 (府中診)	府中市
〃	〃 (福山支所)	福山市
5月12日	農作物共済・畑作物共済事務講習会	広島市
5月13日	決算監査(臨研・東広島診)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
5月14日	収入保険担当課長会議	広島市他
5月15日～16日	決算監査(本所)	広島市
5月20日	余裕金運用管理委員会	〃
5月21日	果樹共済・園芸施設共済事務講習会	〃
5月22日	第1回広報委員会	〃
5月26日	家畜共済特定損害防止事業担当者会議	広島市他
5月27日	理事会	広島市
〃	コンプライアンス責任者会議	〃
5月28日	家畜診療所長会議	広島市他
〃	情報セキュリティ委員会	広島市
5月30日	任意共済担当課長等会議	〃
6月10日	第12回通常総代会	〃
6月13日、19日、23日	コンプライアンス研修会	広島市他
6月18日	任意共済事務講習会	広島市
6月20日	広島県農業保険推進協議会 第6回通常総会	〃
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(臨研・東広島診)	東広島市
6月24日	〃 (北広島診)	北広島町
6月25日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
7月3日	内部監査・情報セキュリティ監査(三次診)	三次市

月 日	行 事 内 容	場 所
7月3日	内部監査・情報セキュリティ監査(庄原診)	庄原市
7月8日	〃 (府中診)	府中市
7月10日	〃 (府中出張所)	〃
7月11日	〃 (福山支所)	福山市
7月14日	〃 (三次支所)	三次市
7月17日	〃 (江田島連絡所)	江田島市
7月18日	〃 (東広島支所)	東広島市
7月22日	中堅職員研修会	広島市
7月23日	内部監査・情報セキュリティ監査(廿日市出張所)	廿日市市
7月24日	〃 (北広島支所)	北広島町
7月25日	家畜診療所長会議	広島市
7月29日	内部監査・情報セキュリティ監査(収入保険課)	〃
7月30日	役員研修会	〃
〃	理事会	〃
8月1日	内部監査・情報セキュリティ監査(建物農機具課)	〃
〃	一般職員研修会Ⅱ	〃
8月4日	一般職員研修会Ⅰ	〃
8月5日	初級職員研修会	〃
〃	損害評価会 農作物共済部会	〃
8月7日	家畜診療所運営委員会	〃
〃	収入保険事務講習会	〃
8月8日	園芸施設共済損害評価現地研修会	東広島市
8月12日	内部監査・情報セキュリティ監査(収穫園芸課)	広島市
8月19日	〃 (家畜課)	〃
8月20日	任意共済損害評価講習会	〃
8月21日	内部監査・情報セキュリティ監査(企画情報課)	〃
〃	農作物共済(水稻)損害評価現地研修会	東広島市
8月25日	家畜共済担当課長等会議	広島市
8月27日	家畜共済事務講習会(診療所)	〃
8月28日	内部監査・情報セキュリティ監査(総務課)	〃
〃	家畜診療所長会議	広島市他
8月29日	果樹共済(落葉果樹)損害評価現地研修会	庄原市
9月1日	情報セキュリティ監査(監査室)	広島市
9月11日	農業共済功績者表彰審査委員会	〃
9月12日	部長・室課長・支所長会議	〃
9月17日	余裕金運用管理委員会	〃
9月26日	理事会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
9月26日	監事会	広島市
9月29日	家畜共済事務講習会	〃
〃	果樹共済(常緑果樹)損害評価現地研修会	呉市
10月7日	第2回広報委員会議	広島市
10月9日	家畜診療所長会議	広島市他
10月14日	収入保険担当課長会議	広島市
10月27日	中間監査(臨研・東広島診)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
10月28日	コンプライアンス責任者会議	広島市
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
10月29日	中間監査(府中診)	府中市
〃	〃 (福山支所)	福山市
10月30日	畑作物共済(大豆)損害評価現地研修会	北広島町
10月31日	システム運用検討会議	広島市他
11月4日	任意共済担当課長等会議	〃
11月6日	家畜診療所長会議	〃
〃	中間監査(北広島診)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
11月7日	〃 (三次支所)	三次市
〃	〃 (三次診)	〃
〃	〃 (庄原診)	庄原市
11月10日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
11月17日	農作物共済(水稻)に係る損害評価等検討会	広島市他
11月20日～21日	中間監査(本所)	広島市
11月25日	理事会 事業委員会	〃
〃	理事会 総務委員会	〃
11月28日	余裕金運用管理委員会	〃
12月3日	理事会	〃
12月8日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
12月9日	内部監査(江田島連絡所)	江田島市
12月10日	〃 (東広島支所)	東広島市
12月11日	損害評価会 農作物共済部会	広島市
12月12日	家畜診療所長会議	〃
〃	内部監査(三次支所)	三次市
12月15日	〃 (廿日市出張所)	廿日市市
12月16日	臨時総代会	広島市
12月17日	管理職研修会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
12月18日	初級管理職研修会	広島市
12月19日	内部監査(北広島支所)	北広島町
12月22日	〃 (府中出張所)	府中市
12月23日	〃 (福山支所)	福山市
12月24日	情報セキュリティ委員会	広島市
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
令和8年		
1月9日	内部監査(府中診)	府中市
1月13日	〃 (北広島診)	北広島町
1月16日	〃 (三次診)	三次市
〃	〃 (庄原診)	庄原市
1月19日	〃 (臨研・東広島診)	東広島市
1月21日	〃 (建物農機具課)	広島市
1月22日	〃 (収穫園芸課)	〃
1月26日	〃 (家畜課)	〃
1月27日	〃 (企画情報課)	〃
1月29日	〃 (収入保険課)	〃
〃	家畜診療技術講習会	〃
1月30日	内部監査(総務課)	〃
2月4日	家畜共済担当課長等会議	〃
2月6日	任意共済担当課長等会議	〃
2月9日	部長・室課長・支所長会議	〃
2月10日	収穫園芸担当課長等会議	〃
2月12日	広報紙編集印刷業務委託業者選考委員会	〃
2月13日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
2月16日	理事会 事業委員会	〃
〃	理事会 総務委員会	〃
2月24日	理事会	〃
〃	監事会	〃
2月26日	中国地区農作物共済担当部課長会議	〃
3月2日	「未来へつなぐ」サポート運動実践企画会議	〃
〃	損害評価会 家畜共済部会	〃
3月4日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長・所長会議	〃
3月6日	損害評価会 任意共済部会	〃
3月9日	コンプライアンス改善委員会	〃
3月10日	臨時総代会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
3月11日	損害評価会 畑作物共済部会	広島市
〃	家畜診療所長会議	〃
3月12日	損害評価会 農作物共済部会	〃
3月13日	余裕金運用管理委員会	〃
3月16日	第3回広報委員会議	〃
3月27日	理事会	〃
〃	監事会	〃

イ 総 代 会

(ア) 通常総代会

(令和7年6月10日)

総代会日現在総代数 (A)	147人	出 席 率
本 人 出 席 (B)	31人	(B) / (A) 21.09%
代 理 出 席	0人	
書 面 出 席	108人	
出 席 者 計 (C)	139人	(C) / (A) 94.56%

重要な議事及び議決事項

1. 令和6年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案について
2. 令和7年度事業計画設定について
3. 令和7年度事務費賦課額及び賦課方法について
4. 令和7年度役員報酬、顧問料、損害評価会委員、損害評価会支所委員、家畜診療所運営委員、損害評価員及び共済委員等の手当支給額について
5. 令和7年度における借入金の最高限度額について
6. 令和7年度余裕金預入先決定について
7. 実施体制の改善計画の一部変更について
8. 損害評価会委員及び損害評価会支所委員の退任及び補充選任について
9. 家畜診療所運営委員の退任及び補充委嘱について

(イ) 臨時総代会

(令和7年12月16日)

総代会日現在総代数 (A)	147人	出 席 率
本 人 出 席 (B)	7人	(B) / (A) 4.76%
代 理 出 席	0人	
書 面 出 席	136人	
出 席 者 計 (C)	143人	(C) / (A) 97.28%

重要な議事及び議決事項

1. 定款の一部変更について
2. 事業規程の一部変更について

(令和8年3月10日)

総代会日現在総代数 (A)	145人	出 席 率
本 人 出 席 (B)	6人	(B) / (A) 4.14%
代 理 出 席	0人	
書 面 出 席	131人	
出 席 者 計 (C)	137人	(C) / (A) 94.48%

重要な議事及び議決事項

1. 職員給与規則の一部改正について
2. 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
54,715人	52,803人	△1,912人	

エ 役職員その他

(7) 役職員

役員数	理事						監事		合計	
	常勤 0人		非常勤 13人		計 13人		3人		16 人	
職員数	事項 性別	参事	監査室	事業部			家畜部	総務部		計
				農作物 畑作物 果樹 園芸施設	任意	収入 保険	家畜	総務	企画 情報	
	男	人 1	人 3	人 5	人 3	人 3	人 17	人 5	人 4	人 41
	女					1	15	3	2	21
	計	1	3	5	3	4	32	8	6	62
数	事項 性別	北広島 支所	東広島 支所	福山 支所	三次 支所	計				計
	男	人 21	人 16	人 12	人 15	人 64				人 105
	女	6	4	10	3	23				44
	計	27	20	22	18	87				149

(イ) 職員勤務場所

	本 所	支 所 等	臨床研修所	診 療 所	計
男	人 28	人 64	人 1	人 12	人 105
女	7	23	1	13	44
計	35	87	2	25	149

(ウ) 総代、共済委員、NOSA I 部長、損害評価会委員、損害評価会支所委員、損害評価員

総代	共済委員	NOSA I 部長	損害評価会委員	損害評価会支所委員	損害評価員
145 人	5,470 人	132 人	45 人	184 人	789 人

(10) その他

ア 決算日後に生じた組合の状況に関する重要な事実
該当事項はなし